



総務常任委員会議案審査報告書

1. 第 68 号議案 公益的法人等への町田市職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例

1. 第 63 号議案 平成 28 年度（2016 年度）町田市一般会計補正予算（第 3 号）

本委員会は、9 月 9 日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成 27 年度（2015 年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9 月 9 日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳入）

- （1）個人市民税は収納率が高くなっているが、法人市民税の収納率が低くなっている。内容をよく精査されたい。
- （2）市税の収納に関し、市民センター納付、コンビニ納付等ごとの行政コストを相互に比較されたい。
- （3）「町田市役所本庁舎内カフェ店舗営業区画」定期建物賃貸借契約に於いて、厨房部分 26.1㎡のみの契約が交され賃借料収入となっているが、実態として占有となっている部分（共有スペース）229.4㎡は、占有契約も書面で確認されておらず、賃借料が全く支払われていない。本来の目的通り共有スペースとして開放する又は適正な価格で賃貸借契約を結ぶかを判断し、行政財産の適正な利用を図られたい。
- （4）ふるさと納税については、事業の成果を数値で表されたい。
- （5）町田市の財政基盤の将来像を含めて、地方交付税、臨時財政対策債の効率的な配分を検討されたい。

(歳出)

議会費

- (6) 本会議場見学会・模擬議会について、小学生用の見学が行われているが、中高生にも対象を広げられたい。あわせて、中高生用の議会のしおりを作成されたい。
- (7) 議会事務局職員人件費増加の要因は公聴会の開催とあるが、職員の業務を含めて、その意義を分かりやすく表示し、貴重な体験として、議会の広報にも活かされたい。

総務費

- (8) 文書管理事業については、取り組みに対する成果を示されたい。
- (9) 業務量の平準化を図り、恒常的な職員の時間外勤務を改善されたい。また国の制度変更等による業務の増加が見込まれる時には、仕事量に見合った職員配置と職員の増員に努められたい。
- (10) 平成27年12月1日、労働安全衛生法の改正により、事業者へストレスチェックが義務化された。市は職員のメンタル疾患の予防により努め、特にメンタル疾患の病休者の減少に努められたい。
- (11) 管理職試験の受験率について、より受験率の向上に向けて努力されたい。
- (12) 職員の自己啓発研修（資格取得）についてはさらなる支援をされたい。
- (13) 工事請負契約・物品契約について、より市内事業者の落札率を上げられるように努力されたい。また、不調件数に関しても、より適正な積算単価による入札で減らせるよう、努力されたい。
- (14) 広報物設置については、見やすく、取りやすい広報ボックスを配置し、広報紙の設置拠点については、効率的な場所に広げられたい。
- (15) 広報まちだなど市が発信する情報については、市民ニーズを分析し、紙媒体と合わせてHP・SNSの活用など必要な情報が対象者へ適切に届けられるような広報手段のあり方を検討されたい。
- (16) パブリックコメント事業については、なじみやすく、一般市民が対応しやすいように改善されたい。
- (17) 庁舎案内業務の委託職員と行政職員の交流を深め、市民対応の向上を図られたい。
- (18) 市民からの市政要望に対しては、職員の対応能力向上を図るとともに、要望の適切性の判断や、根本的解決に繋がる形を検討されたい。
- (19) 町田市が実施するふるさと納税の返礼品に関して、内容を充実されたい。
- (20) 車両事故防止の観点から、事故件数等を事業の成果に記載されたい。
- (21) 予算編成に伴う事業見直しについては、より実態に見合った根拠のもと、行われたい。
- (22) 市庁舎4階屋上花畑の維持管理については、ボランティアと協働のもと、来庁者のいこいのスペースとして有効活用が図れるよう工夫されたい。
- (23) 委託費の中で、ギネス世界記録挑戦イベントという単発の企画に400万円以上を拠出した事には疑問が残る。今後は、契約事務適正化委員会の審査をより柔軟に行い、一層の精査をされたい。
- (24) 多摩都市モノレールの町田延伸に関しては、行政がやるべき取り組みを早期に明確に

されたい。

- (25) 管理職（部長）の業務一般におけるタブレット活用の促進を図られたい。
- (26) 事務事業見直し推進事業については成果を見極められたい。
- (27) 包括外部監査委託について、予算額の妥当性が明確になる予算構築を実施されたい。
- (28) 経営品質向上活動については、外部評価を受けられたい。
- (29) 経営品質向上活動については、セルフアセッサーの育成に力を入れられたい。
- (30) 市税等の滞納者に対する公債権対策については、丁寧な納税相談を基本に、滞納理由などを十分聴取した上で、滞納額が高額になるまえに分納、減免情報を提供されたい。
- (31) 工事監査の実施については、年1回にこだわることなく、年度の工事案件数、内容によってはあらかじめ予算を確保するなど必要に応じて複数回実施し、監査の強化に努められたい。

農林費

- (32) 市民農園の利用率は100%を越え、市民の市民農園に対するニーズは高くなっているが、2015年も2カ所が閉園となっている。今後は、農家開設型体験農園など新たな方策を進め、市民ニーズにより応えられたい。
- (33) 都市農業の継続と重要性を体現する、農業研修を受けた新規就農者が町田に定着し安定した事業を展開できるように、努力されたい。
- (34) 老朽化率の高いふるさと農具館や七国山ファーマーズセンターについては、薬師池公園四季彩の杜北園開園に合わせて、来園者が立ち寄れる回遊コースの魅力ある施設となるよう修繕をすすめられたい。
- (35) 北部丘陵活性化事業については、農地あっせん事業のほか未活用農地で市民が農業体験できるようなイベントや自主事業を検討されたい。

商工費

- (36) 産業観光課においては、工業を軽視せず、独自の事業に取り組まれたい。
- (37) 町田市の特徴として創業支援（特に女性起業）に力を入れられたい。
- (38) 新産業創造センターについて、入居者の利用期間が終了後、その事業者の発展動向を注視し、町田市内での事業定着を図られたい。
- (39) 新産業創造センターについて、町田市も他市のように産業関係分野で東京都の施設、事業の恩恵を受けられるように研究されたい。
- (40) 企業誘致推進事業については、成果を見極められたい。
- (41) 商店街活性化支援事業について、商店街全体の状況をかんがみ、今までのイベント中心の補助制度だけではなく、補助金の効果検証を深め、補助制度のあり方の抜本的検証を講じられたい。
- (42) 産業見本市出展補助については、より一層の周知をされたい。
- (43) 「シバヒロ」で実施されるイベントの企画・運営に対する補助金と観光コンベンション協会の委託料の棲み分けを明確にし、「にぎわい空間創出推進事業」の費用対効果については、経営基盤の強化と補助金依存体質の改善を促す等、中心市街地活性化事業全

体の中で、十分な検証を行われたい。

- (44) 観光コンベンション協会補助金について、観光コンベンション協会は、市内観光事業者育成の方針で、その業者との連携を図られたい。
- (45) 小野路宿里山交流館は北部丘陵の入り口のひとつとして、北部丘陵の魅力を市内外に知らしめる役割があると考え。訪れる人が足をのびしたくなる仕かけを今後も充実されたい。
- (46) 町田ターミナルプラザ事業について、収支状況をかんがみ、抜本的な対策を講じられたい。
- (47) プラザ町田事業について、収支状況や稼働率をかんがみ、抜本的な対策を講じられたい。
- (48) 町田シバヒロについて、イベント補助金等の収支のあり方を明確にし、事業として成り立つよう、事業構築をされたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳入)

- (49) 軽自動車税については、収入未済額が多いが、その徴収方法をさらに検討されたい。

(歳出)

商工費

- (50) 観光事業においては、市内ホテルの利用者を増大するための、国際版画美術館駐車場等の活用をより増大されたい。

平成28年(2016年)9月20日

総務常任委員長 松岡みゆき

議長 佐藤伸一郎様

健康福祉常任委員会議案審査報告書

1. 第 63 号議案 平成 28 年度（2016 年度）町田市一般会計補正予算（第 3 号）
1. 第 64 号議案 平成 28 年度（2016 年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第 1 号）
1. 第 66 号議案 平成 28 年度（2016 年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第 1 号）
1. 第 67 号議案 平成 28 年度（2016 年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）

本委員会は、9 月 9 日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成 27 年度（2015 年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9 月 9 日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳出）

民生費

- （1）民生費は、人口構造の変化等社会的な理由を背景に増大の一途を辿っている。その中にもあっても、歴史的な積み重ねのある町田市独自の福祉政策の持続、新たな開発及び予算配分の努力を続けられたい。
- （2）第一期市民後見人育成研修の検証に伴い、一層高齢化等が進むに当たり、後見人の役目の必要性ならびに置かれる立場を丁寧に推進されたい。
- （3）町田市社会福祉協議会についてはその財政状況を鑑みて、事業パートナーとしてしっかりと支援を続けられたい。
- （4）障がい者就労支援事業については、就労そのものの支援は勿論のこと、就労を継続・持続できるような取り組みを強化されたい。

- (5) メディアに注目を浴びるリス園は、入場者が増加傾向にある。よって、一般就労が困難な障がい者の方々を今以上に働く場として提供されたい。
- (6) 障がい者支援センター運營業務委託については、委託業務に見合った額を各受託者の意見聴取等をもとに丁寧に積算されたい。
- (7) 障がい者支援センターについては設置後も市が基幹的な役割を發揮して取り組む必要があり、現場のニーズや当事者やその家族の要望に対し丁寧な対応をされたい。
- (8) 高齢化が急速に進展している現状を鑑み、高齢者見守り支援ネットワーク事業の増加に努められたい。
- (9) 高齢者の見守り支援「安心キーホルダー」の登録の際、(徘徊等の搜索に役立つので)事前に写真の登録を併せて行う等、更なる取り組みを図られたい。
- (10) 高齢者福祉センター(ふれあい館)の各館とも利用人数が伸び悩んでいる。新たな取り組み、新たな利用者の増加を図り、利用者の増加、利用率の向上に努められたい。
- (11) 生活困窮者に対する就労支援により94人中73人(78%)、就労に結びついた。今後、目標値をしっかりと定め、また、就労後についても定着率等、見守りをされたい。
- (12) 生活保護事業に関わる職員数を確保し、被保護世帯への丁寧な対応が可能な、ケースワーカー1人あたりの担当世帯数とするよう努められたい。
- (13) 急増する生活保護申請に対応し相談窓口業務の充実を図られたい。

衛生費

- (14) 保健所建屋の老朽化という課題は、2011年4月の町田市への譲渡以前から、議会でも問題視されてきた。建替え等の根本的な対応策について議論を深化されたい。
- (15) 各種検診の受診促進を積極的に行うとともに、費用の増加を抑える方策に取り組みされたい。
- (16) 乳がん検診、大腸がん検診の年齢の引き下げを図られたい。
- (17) 乳がん検診においては、実施医療機関が少ない為、更なる拡充をされたい。
- (18) わくわくワクチンの登録者は順調に増加してきている。登録者の増加、利用促進に引き続き取り組まれたい。
- (19) ひきこもり者支援体制推進事業については、実態調査に基づいた実効性のある対策を行い、ひきこもり者への支援につながる件数を増やされたい。
- (20) 乳幼児健診等、利便性向上の為に土日受診出来るよう、医師会との協力体制を図るとともに、特に南地区には乳幼児健診会場がないので、早急に設置をされたい。
- (21) 動物愛護管理事業については、民間団体と連携し、広報の拡大、保健所敷地内における譲渡会の実施等、様々な手法を使い、増強されたい。
- (22) 飼い犬・飼い猫等の避妊・去勢手術補助金制度については、更に市民への周知に努め動物愛護の啓発に努められたい。

2 特別会計

国民健康保険事業会計

- (23) 国民健康保険税の滞納整理（差し押さえ等）については、滞納者の状況把握を徹底し、より丁寧な対応を講じられたい。
- (24) ジェネリック医薬品の普及、レセプトデータの二次点検等を促進し、医療費の適正化に努められたい。

介護保険事業会計

- (25) いきいきポイント事業業務委託について、今後とも地域介護予防活動は推進されることから①受付団体を増やすこと②ボランティア登録者を増やすこと③還元者を増やすこと等を検討されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳出）

民生費

- (26) 未収金（2015年度末 696,567 千円）の圧縮による不正受給対策の強化として、不正摘発を行う職員を増やすこと（例えば、Gメンの様な方）で、抑止力効果を高めるなど早急に対策を講じられたい。
- (27) 生活保護世帯の医療扶助費は年々増加している。医療扶助費の適正化に引き続き努められたい。

1. 認定第 2 号 平成27年度（2015年度）町田市病院事業会計決算認定について

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

- (1) 法的に可能な一般会計からの繰り入れを適切に活用し、安定経営に努められたい。
- (2) 町田市病院事業欠損金について早急な解決を図られたい（町田市病院事業会計決算書 P.10）。

- (3) 町田市病院事業会計決算書内1. 概況(1) 総括事項①救急医療体制の充実について、救急外来を断る割合は3割と聞く。そして、その要因は、専門医師が不在、ベッドが満床と指摘されている。一日も早く3割の救急患者を断らない体制を作り上げられたい(P.28)。
- (4) 小児科と休日準夜こどもクリニックとの連携を深め、小児救急医療体制の充実を図られたい(町田市病院事業会計決算書P.28)。
- (5) 2015年度は医師不足を解消できなかった。中核病院、公立病院としての責任を果たされたい。
- (6) 医療従事者の確保について、医師の採用については医局だけに任せるのではなく事務方も参加されたい(町田市病院事業会計決算書P.28)。
- (7) 病院利用者の声に常に耳を傾け、その声を反映した、医療従事者の育成に努められたい(町田市病院事業会計決算書P.28)。
- (8) 電子カルテの代行入力など医師の負担軽減を目的とした医師事務作業補助者のさらなる配置を行われたい。
- (9) 高額薬品の採用による診療単価の増加について、総額数千万円かかるといわれるような新薬の使用については、十分な議論が必要と思われるので、慎重に対応されたい(町田市病院事業会計決算書P.29)。
- (10) 町田市病院事業会計決算書内3. 業務(2) 事業収入に関する事項について、一般薬品とジェネリック薬品の使用割合は、ジェネリック医薬品が60.4%で年末には71.5%と聞く。より推進を図られたい(P.37)。
- (11) 町田市病院事業会計決算書内4. 会計(2) 企業債及び一時借入金の状況について、企業債の発生を抑えることで事業に影響を及ぼすならば、企業債を発行すべきことを検討されたい(P.39)。

平成28年(2016年)9月20日

健康福祉常任委員長 池川友一

議長 佐藤伸一郎様

健康福祉常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 5 号 障がい福祉における町田市の補助金削減の見直しを求める請願

請願者 町田市忠生 3-6-26

特定非営利活動法人ドレミの仲間

理事長 坪田 将 外 19,086 人

本委員会は、9月9日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

平成28年（2016年）9月20日

健康福祉常任委員長 池川 友一

議長 佐藤 伸一郎 様

健康福祉常任委員会継続審査申出書

本委員会は、会議規則第111条の規定により下記のとおり閉会中もなお継続審査を要するものと決定しましたので申し出ます。

記

1. 請願第 3 号 補助金削減見直しを求める請願

理由 市との協議が行われているため。

平成28年（2016年）9月20日

健康福祉常任委員長 池 川 友 一

議長 佐 藤 伸一郎 様

文教社会常任委員会議案審査報告書

1. 第 69 号議案 町田市地域センター条例の一部を改正する条例
1. 第 72 号議案 2016年度町田市防災行政無線子局設備再構築工事請負契約
1. 第 81 号議案 町田市鶴川緑の交流館ホール等の指定管理者の指定について
1. 第 82 号議案 町田市フォトサロンの指定管理者の指定について
1. 第 83 号議案 みわっこ学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 63 号議案 平成28年度（2016年度）町田市一般会計補正予算（第3号）

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成27年度（2015年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳入）

- （1）セルフ貸出機等で図書館が発行する票においては、以前に実施していたように広告を載せることにより歳入の増加を図られたい。

（歳出）

総務費

- （2）マンション管理組合の町内会・自治会の設立について、加入条件、設立条件を可能な限り緩和し、積極的に進められたい。
- （3）体感治安は若干改善しているようだが、目標値の達成を目指して引き続き改善に努められたい。

民生費

- (4) 家庭的保育（保育ママ）については、保育士の声を受け止め、細やかな対応とともに支援体制を図られたい。
- (5) 病児・病後児保育については、八王子市の2カ所が利用可能になったが、距離的に地域限定となってしまう。全市民が利用できるよう、神奈川県も含め近隣市と連携し、利用可能になるよう拡充を図られたい。
- (6) 保育料の滞納者が生活困窮の可能性のあることから、子ども家庭支援センターと連携して対応されたい。
- (7) 子どもクラブ運営事業においては、今後とも鋭意事業を展開し、利用者を引き続き増やされたい。
- (8) 学童保育事業では4年生以上のニーズを把握されるよう努められたい。

商工費

- (9) 巧妙な手口での特殊詐欺の被害者が多数発生している。市民の財産を守るため更なる周知・啓発に努め、被害の減少を図られたい。

消防費

- (10) 消防団の団員数が何年も定数を大幅に下回っている。地域防災力の低下にならないよう抜本的な解決策を講じられたい。
- (11) スタンドパイプの活用とともに排水栓の活用についても検討されたい。
- (12) 台風等の水害時、避難施設に独自で避難できない要支援者に対しての支援体制と、慌てて外へ逃げない等の更なる周知、啓発に努められたい。

教育費

- (13) 小学校管理運営費及び中学校管理運営費については、教育内容に影響を与えることがないように、学校現場の要望に応え支出されたい。
- (14) 鶴川第一小学校改築工事のように学校施設工事において、国の補助採択の結果に影響される事案が発生している。地域、子ども、保護者に十分配慮し、その影響が極力出ないようにあらゆる方策を検討されたい。
- (15) 小学校就学援助費及び中学校就学援助費については、制度の周知を更に拡充されたい。
- (16) 市立小学校通学路の防犯カメラ整備事業については、性能に加え維持管理費が削減できる機種を更に検討し、導入されたい。
- (17) 市立小学校通学路の防犯カメラ整備後の維持管理費についても、東京都の補助事業となるよう、継続して要望されたい。
- (18) 中学校給食の喫食率が低下しているが、その増加に努められたい。
- (19) 教育センターの人員の配置にあたっては、待ち時間等の課題、相談件数の増加傾向に鑑みしっかりと対応できる人員を配置するよう引き続き努められたい。

- (20) 町田市固有の文化財、歴史資料の保護、維持、管理、市民への情報提供とあわせ、アウトリーチ展示など考古資料の展示拡充を図り、町田市の魅力として内外に発信することにも取り組まれない。
- (21) 文化振興費について、シティセールス事業参加者の実績が目標値と乖離している実態がある。積極的にSNSの活用をするなど、目標値に近づくよう努力されたい。
- (22) 鶴川緑の交流館事業について、町田市の基本目標である賑わいのあるまちをつくる拠点にもなっていることから、貸出施設利用者数とあわせ総来館者数を成果指標に入れた市の施策のあり方を検討されたい。
- (23) 鶴川緑の交流館事業の利用率の低い貸出施設について、市が取り組む子育て支援にかすことなど、有効活用を検討されたい。
- (24) ひなた村の振替休業については、子どもの休日等に十分配慮の上、振替休業を設定されたい。
- (25) 生涯学習センターのホームページアクセス数は大幅に伸びているものの利用者数は減少している。ついては魅力ある企画と更なる情報発信で利用者数増加に努められたい。
- (26) 生涯学習センター陶芸スタジオは一般市民に貸出しをする予定はないとのことだが、他市の同様の施設は貸出しを行っていることを鑑み、より柔軟に対応されたい。
- (27) 図書館費について、引き続き図書館利用登録者数並びに来館者数の増加を図る取り組みをされたい。
- (28) 移動図書館の中継地点の増加等の見直しには、市民の声を採り入れ随時対応されたい。
- (29) 文学館運営にあたっては、施設建設当初の目標を達成すべく、最小の経費で最大の効果を出すよう工夫されたい。
- (30) 文学館の展示事業の更なる充実を図られたい。
- (31) 国際版画美術館で展覧会を実施の際、同館所有のパネルでは足りないため、他施設から借りている現状を鑑み、展示パネルを増やされたい。
- (32) 若者がスケートボード等のニュースポーツを安全に行える場所の整備を図られたい。
- (33) クラブハウス管理事業において、地域スポーツクラブ設立育成にあたり、次世代育成の観点から、学校開放利用者はもとより、地域の方にも広く利用して頂けるように事業の周知に努められたい。
- (34) クラブハウスの利用実績について、シャワーの利用者数が極端に少ない状況がある。施設整備にあたっては、利用実績を十分考慮の上、設置の有無も含め十分に検討されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳入)

- (35) 保育料、育成料等の未収金を早急に回収するように努められたい。

(歳出)

民生費

- (36) 義務教育就学児医療費助成制度を拡充されたい。
- (37) 子ども・子育て支援新制度の導入に伴い、事務量が大幅に増えている。その解消のために、人的配置を含め対策を講じられたい。
- (38) 学童保育クラブについては、大規模クラブ解消のため、更に増設されたい。

教育費

- (39) 文化芸術ホール整備事業を順調に進捗されたい。
- (40) 文学館への来館者を増やすためにも、バス交通の導入を検討されたい。

平成28年（2016年）9月26日

文教社会常任委員長 市川 勝斗

議長 佐藤 伸一郎 様

文教社会常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 2 号 町田市立博物館（以下、博物館）を『町田市郷土博物館』（仮称）として現在地に存続させることを要望する請願

請願者 東京都町田市南大谷 1 4 0 4 - 4
野 澤 滋 享 外 7, 7 5 2 人

本委員会は、3月11日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 請願第 6 号 町田市図書指導員制度の抜本的改革を求める請願

請願者 町田市成瀬 3 - 1 1 - 8
町田の学校図書館を考える会
水 越 規容子 外 6 0 1 人

本委員会は、9月9日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

平成 2 8 年（2 0 1 6 年）9 月 2 6 日

文教社会常任委員長 市 川 勝 斗

議長 佐 藤 伸一郎 様

文教社会常任委員会継続審査申出書

本委員会は、会議規則第111条の規定により下記のとおり閉会中もなお継続審査を要するものと決定しましたので申し出ます。

記

1. 請願第16号(27) いじめ事件に対して真摯に取り組むことを求める請願

理由 係争中の案件であるため。

平成28年(2016年)9月26日

文教社会常任委員長 市川勝斗

議長 佐藤伸一郎様

建設常任委員会議案審査報告書

1. 第 70 号議案 町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 71 号議案 町田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 76 号議案 町田都市計画事業南町田駅周辺土地区画整理事業の事業執行に関する協定
1. 第 77 号議案 町田都市計画事業南町田駅周辺土地区画整理事業鶴間公園南調整池再整備工事（施行地区外流域分工事）に関する施行協定
1. 第 78 号議案 平成 27 年度町田市公共下水道根幹的施設（鶴見川クリーンセンター）の建設工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定
1. 第 79 号議案 市道路線の認定について
1. 第 80 号議案 市道路線の廃止について
1. 第 63 号議案 平成 28 年度（2016 年度）町田市一般会計補正予算（第 3 号）
1. 第 65 号議案 平成 28 年度（2016 年度）町田市下水道事業会計補正予算（第 2 号）

本委員会は、9 月 9 日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成 27 年度（2015 年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9 月 9 日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳出）

衛生費

（1）緑地や公園の整備にあたっては、いきもの・環境自然共生の観点から一層調査や保存

に配慮されたい。

- (2) 自然エネルギーの利用促進については、太陽光発電以外のいろいろな方法についても検討されたい。
- (3) 2020年度までに「ごみとして処理する量の40%削減」を達成しうるために、年度ごとの目標を立て、具体的に市民の協力も得られるよう取り組まされたい。
- (4) リレーセンターみなみについては、将来にわたり、継続的に事業が行われるよう、20年後、30年後を目途とし、計画されたい。
- (5) 熱回収施設等の整備に向けて、周辺地域の街づくりの要望等に対して、市の取り組み状況を速やかに周知し、コミュニケーションを深められるよう取り組まされたい。
- (6) エコフェスタ事業においては、意義を十分に反映し、市民協働で引き続き取り組まされたい。
- (7) 家庭用生ごみ処理機の普及により努められたい。
- (8) 容器包装プラスチックごみの分別収集や資源化を進めるため、収集手数料の見直しなど更なる改善を図られたい。

土木費

- (9) 町田駅周辺（JR町田駅ターミナル口、小田急町田駅西口、小田急タクシー乗り場）バリアフリー化推進のため、エレベーター設置に努められたい。
- (10) 「冠水ガード君」「バスくるヒカルくん」については、市の財産ととらえ積極的に活用・PRに努められたい。
- (11) 狭隘私道移管事業において、私道であることのデメリットを地権者等に説明し、理解を得て、積極的に推進されたい。
- (12) 道路補修の平準化の予算をしっかりと確保し、長期舗装に耐えられる取り組みに努められたい。
- (13) カーブミラー設置については、設置基準の緩和に努められたい。また、申請手続きについては柔軟に対応されたい。
- (14) 防災の観点からも狭隘道路を含め、更なる無電柱化の推進に努められたい。
- (15) 「消えないまちだ君」を避難施設などに積極的に設置されたい。
- (16) 放置自転車・放置バイク防止の取り組みは、効果が出ており、引き続き市民の協力が得られるよう努力されたい。
- (17) 自転車駐車場整備にあたっては、事前の需要予測を丁寧に行い、不足のないように努められたい。
- (18) 南町田駅周辺地区をはじめ、まちづくりの際には、周辺住民に丁寧な情報提供を行うとともに、十分な課題の共有を図られたい。
- (19) 住居表示の進め方は、このたびの南町田の新しい住居表示設定にあたって問題となったプロセス等を十分にレビューし、スムーズに進められるよう、PDCAを回されたい。
- (20) 住所整理事業を進めるにあたっては、自治会・町内会の窓口とともに関連地域住民全体に丁寧な情報提供と課題の共有を図られたい。

- (21) さまざまな数多くの街づくりが進められているが、これらの進捗管理がしっかり出来、着実に進展していくよう工夫されたい。
- (22) 高齢者などから要望が多い、バス停上屋やいすの増設を図られたい。
- (23) 地域コミュニティバスについては、地域の実情に配慮し、採算性だけでなく導入目的に鑑みて継続のために更なる支援の充実を図られたい。
- (24) 玉ちゃんバス等、地域コミュニティバス運行事業に関しては、利用状況の調査等を行い、増便に努められたい。
- (25) 地域コミュニティバス運行事業について、玉ちゃんバスルート等、狭隘な道路には、側溝の蓋かけをするなどで幅員確保に努められたい。
- (26) 地域コミュニティバス運行事業において、交通空白地区の解消のために、シルバーバスが利用できるよう、様々な角度から検討を進めて新たなルートの増設に努められたい。
- (27) 交通空白地区を解消するためにデマンドバス等の様々な方法を実施し、いち早く解消されたい。
- (28) 多摩都市モノレールについては、早期延伸に努められたい。
- (29) 町田市ノンステップバス導入については、相原駅等の町田中心部以外に、もっと積極的に取り組まれたい。また、この補助事業制度を今後とも継続されたい。
- (30) 公園駐車場管理事業において、公園駐車場や導入路の整備に努められたい。
- (31) 都市公園の効率的かつ効果的な維持補修のための予算をしっかりと確保されたい。

2 特別会計

下水道事業会計

- (32) 雨水調整池維持事業について、台風・大雨等で溢水の危険があるときには、周辺住民を避難させるため、素早く丁寧に危険を周知されたい。
- (33) 下水道施設の安定的な維持管理や老朽化した管渠への対応などを行うため、平準化された予算を確保されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

土木費

- (34) 公園駐車場管理事業については、赤字解消に向け、更なる努力をされたい。

平成28年（2016年）9月26日

建設常任委員長 白川 哲也

議長 佐藤 伸一郎 様